

まるこやま

第71号

令和4年1月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@hotmail.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会



大東小学校6年生

新年の決意を込めて
書き初めをしました。



年頭のごあいさつ

雲南市消防団 大東方面隊長
白根達也



新年明けましておめでとうございます。

地域の皆様には良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃は、大東町消防後援会様をはじめ地域の皆様には、雲南市消防団大東方面隊の活動に対し格別のご理解とご協力、並びにご支援をいただいておりますこと、心から御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、消防操法大会が中止になるなど、新型コロナウイルスの蔓延が消防団活動に影響を与えましたが、消防力の低下を招かないよう感染対策を十分に行った上で、新入団員研修、幹部団員研修、全団員による火災想定訓練等を行いながら有事に備え、操法技術の向上に努めてきました。

また、7月豪雨による水害時も水防団として出動するなど、多様化する自然災害にも対応できるよう日頃から訓練を行っております。

そうした中、課題である団員の確保には大変苦慮しており、団員の減少は消防力の低下に直結すると考えていることから、地域の皆様方に

は引き続きご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

例年草焼きが原因と思われる火災や、冬季は暖房器具の取り扱いが原因と思われる火災が発生し、火災予防の広報活動として巡回活動、告知放送による注意喚起、火災予防チラシの配布等を実施しています。

地域の皆様におかれましても、風が強い日には草焼きはご遠慮いただき、行われる際には現場から離れず、万が一に備えて事前に消火準備をする等の防火対策を心がけていただきますとともに、暖房器具の近くには燃えやすい物は置かない等、取り扱いには十分に気を付けていただきますようお願いいたします。

また、自治会様における防災活動等にも消防団として積極的に参加いたしますので、その際には消防団員に気軽に声を掛けてください。

今年一年の無火災と無災害、並びに市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念し年頭のごあいさつといたします。



年男

五黄の寅

織部自治会 小山益男



令和4年の新年を迎え72歳の年男となった。

今年の干支は寅であり、昭和25年生まれの私は36年に一度の五黄の寅だそうである。インターネットで調べると、五黄の寅の人は強運の持ち主・プライドが高い・ロマンチスト・負けず嫌いであるが、この中で私に当たっているのは負けず嫌いぐらいだろうか。

私は、4年前に心臓の欠陥による意識消失で路上に倒れたが、幸い近所の人に発見してもらい救急搬送された。その一週間後再度倒れ、ついにはペースメーカーを埋め込むことになった

が、その後は普通の生活が送れており、非常勤ではあるが地域自主組織の職員として勤務している。

また、地元のシニアソフトボールチームに加入し、体力、健康の維持とチームメイトとの親睦、交流を図りながら、週2回の練習と各種大会での試合を楽しんでおり、今年はこのチームでの2度目の全国大会出場を目指し、体力、気力の続く限り頑張りたいと思っている。

こうした生活ができるのは、ひょっとしたら強運の持ち主ということも当たっているかもしれない。

話は変わるが、プロ野球では大東中学校出身の糸原健斗（阪神）、福山博之（楽天）の両選手がめざましい活躍をしており、今年も両選手を応援しながら、秋の日本シリーズでの対決を夢見て好きな野球を楽しみたい。



全国老人クラブ連合会活動賞 島根県老人クラブ連合会活動賞大賞 島根県県民いきいき活動奨励賞

北町北寿会

北町北寿会では、大東七夕祭のシンボルである西瓜提灯の保存継承に力を入れるとともに、地域の世代間交流活動等に長年尽力されています。具体的には大東小学校2年生が大東七夕祭の歴史を学ぶとき西瓜提灯づくりの体験指導にあたりたり、大東保育園での七夕祭行事に参加されたりしています。また、とんど祭りや笹まきづくり、そば打ちなど地域の伝統文化・行事でも子どもや、若者の参加を呼び掛けながらその中心的役割を担っておられます。そのほか、子どもたちや独居者へのあいさつ・声掛けによる見守り、大人同士のあいさつなどの友愛活動を通じた地域の安心安全にも貢献しておられます。

この度、こうした長年の活動が評価され、各方面から表彰されましたのでご紹介します。

深田幸悦会長から、今後も地域文化の伝承・多世代交流等地道に活動を続けて参りますとのコメントをいただきました。



島根県教育功労表彰

元 県立高等学校校長 新田康二 様



多年学校教育の充実に努め教育行政の伸展に寄与された功績により、島根県教育功労表彰を受賞されました。県立松江商業高校校長を最後に県職員を退職され、山陰中央専門大学校長や関西大学非常勤講師などを歴任後、現在、雲南市大東地区民生委員・児童委員として活躍されています。「大東を離れた仕事が多かったので、これから地元への恩返しのため頑張ります。」とのコメントをいただきました。

雲南市自治功労表彰

元 雲南市消防団本部長 土谷 甲 様



消防団員として30年にわたり災害の防除と消防力の強化に努め、地域の安全に尽力された功績により、雲南市自治功労表彰を受賞されました。「大過なく退団できたのも、団長をはじめ団員の皆様のご指導ご協力があったからこそと感謝いたします。今後は消防団OB、一市民として微力ながら消防団を支援してまいります。」とのコメントをいただきました。

交通安全功労団体表彰

新庄通学路等ボランティアの会



平成29年8月に地域内の児童生徒が年間を通じて安心して通学ができる環境づくりに取り組もうと、地元有志7人で「新庄通学路等ボランティアの会」が結成されました。以来、登校時の見守り・あいさつ声掛けや、降雪時の通学路除雪活動を中心とした地道な活動が続けられてきましたが、この活動に対し地域の交通事故防止に多大な貢献をされたと評価され、令和3年11月19日に雲南警察署長、雲南地区交通安全協会会長より表彰を受けられました。同会の大村直人会長より「これからもメンバーの輪を広げながら私たちに出来るボランティア活動を続けていきます。」とコメントをいただきました。

まなびの泉

大東小学校6年
柿本 花音



新年の決意

私の新年の決意は、「中学校でたくさんの人に話しかけて、たくさんの友達をつくる」です。今年でよいよ中学生になります。なので、いろいろな人に話しかけ、たくさん友達をつくりたいと思いました。

中学校では勉強も部活もがんばって、思いやりの心を忘れずに毎日楽しく過ごしたいです。



大東小学校6年
錦織 美咲



私の新年の決意は、「勉強とスポーツを両立してがんばる」です。勉強では苦手な教科が多いから、中学校に行くまでに少しでも苦手を減らせるようにがんばりたいです。

スポーツでは、今までしてきた野球を生かしてソフトボールにつなげていけるようにがんばりたいです。

勉強とスポーツを両立して、中学校でも楽しく過ごせるようにしたいです。



釈 雲 照

大東の歴史を探る会 宮澤明久

町内には高僧雲照筆になる書が多数存在していますが、その訳を探ってみます。

雲照は文政10(1827)年に現在の出雲市東園町の渡部家に生まれ、10才の時に同市内知井宮の多聞院で修行の道に入った。親族には横田岩屋寺や松江千手院、大東普賢院の住職がおり、幼少の頃から影響を受けていたようである。

このような環境のなか修行に努め18才で能義郡観音寺住職となり、弘化4(1847)年からは町内須賀の普賢院の住職を24年間勤めたと伝わる。実務は甥の善義和尚が行い、雲照自身は22才から高野山金剛峰寺に入り苦学修練していた。明治に入り高野山内の墮落や世情の頹廃を憂い高野山から降り、明治7(1874)年には醍醐天皇の勅願寺である京都勧修寺の住職に迎えられたが、明治18(1885)年には上京し皇族公家などの協力を得て明治25(1892)年、目白新長谷寺に新寺(のちの目白僧園)を建立し住職となった。この間、明治20(1887)年には栃木的那須に雲照の



我が家に伝わる雲照筆「堪忍」

帰依者が新寺を建立し、雲照を住職として迎え雲照寺と号された。

明治32(1899)年に京都仁和寺門跡に迎えられたが勧修寺の時と同様、古格を守る門跡の位と宗団の旧体を嫌い翌年には辞任した。この年真言宗の最高位である「大僧正」が贈られたが、生涯「律師」として通した。

全世界の仏教統一と世界民族救済を終生の念願とした雲照は、80才の老齢となっても朝鮮・満州の各地を供養行脚し、明治42(1909)年東京目白僧園で85才の生涯を終えた。

このように出雲生まれの雲照は全国に名を馳せる高僧であるが、普賢院に滞在していた時期の書や遺品が多数残されている。故に町内にも多数の書や額が残されているようである。



そろそろこの顔を覚えてください!(笑)

雲南夢ネット・キャスター・番組ナビゲーター
フリーアナウンサー 湯浅 チカ子

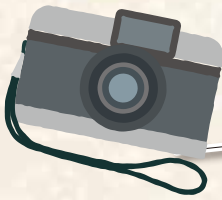


(絵:大東町東町北 細田 滋)

あけましておめでとうございます。皆様には日頃より雲南夢ネットをご覧いただきありがとうございます。私の事は、そっくりな似顔絵をご覧になりお気づきいただけましたか?(笑) そうです! 雲南市と飯南町のニュースや話題をお伝える「情報NEXTプラス」キャスターの湯浅チカ子です。いつも大変お世話になっております。

本年も「あーこの人 いつも見る人だわ 笑顔だわ」と安心していただける存在になれるように精進します。よろしくお願い致します。

雲南市と飯南町の皆様の身近な出来事や発見に触れさせて頂くことで、私自身も本当に皆様から教わることばかりですし、温かい気持ちになります。これからも雲南市に関われることや皆様への感謝の気持ちを忘れず、この大切なご縁を守り育てていきたいと思っております。引き続き何卒よろしくお願い致します。



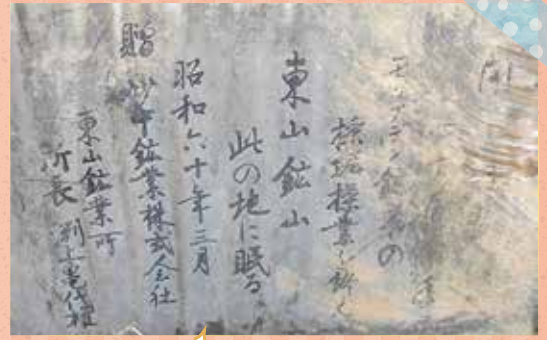
パナリ 掲示板

Photo bulletin board

旧大東町役場の解体撤去工事により
貴重な資料が収集できました。

4階議場の天井裏に 納められていた上棟札

上棟 昭和33年3月25日
 施主 大東町長 高橋英夫
 設計監理 (株)内藤建築事務所
 請負者 (株)鴻池組
 総工事費 42,545,000円
 補助金 2,800,000円
 寄附金 4,700,000円



役場玄関前の石碑に埋め込まれて いた東山鉱山閉山記念銘板

昭和15年に操業を開始した東山鉱山が、昭和60年3月に閉山するにあたり、妙中鉱業東山鉱業所から大東町へ150万円が寄付されました。この寄付金で玄関前の庭を整備した記念の銘板です。最盛期には、全鉱山従業員数1,000人程度、日本の総生産の66%を供給していた大東のモリブデン鉱山ですが、最後の東山鉱山閉山により70年に及ぶ輝かしいモリブデンの歴史を閉じました。



11/6

四季折々の花が咲き誇る西町ロータリー花壇づくりに取り組んで8年目になる西町寿会花づくりクラブ(荻州基会長)。花壇は買い物や散歩など行き交う人々の目を楽しませてくれるスポットとなりました。

11/23

成蓮寺法燈継承式がありました

広瀬町本成寺の岡本亮泰師が、新しく成蓮寺の住職としてお入りになりました。「新しく当地区の住民となりますが、住職の務めとともに地域のために頑張りますのでよろしくお願いたします」とのごあいさつがありました。



12/14

大木原明朗会(別所武夫会長)の恒例行事である「そば打ち講習会及び試食会」が12月14日大木原公民館で行われ、使い慣れた捏ね鉢や延板・めん棒、包丁などを持ち寄り腕をふるうなど、会員25人が参加されました。同会では、会員がひきこもりがちにならないように毎月1回以上の交流活動としての「出会いの日」が計画され、12月は今回13回目となる赤穂浪士討ち入り前夜の「討ち入りそば」にちなんだそば打ち行事でした。



12/9



大東地域交流センターで生涯学習運営委員会・大東地区女性振興会・大東明寿会共催による「防犯・交通安全教室」を開催しました。お話をいただいた大東駐在所の原さんからは、腹話術を交えながら、管内での巧妙な特殊詐欺の手口や被害対策、また、具体的な事故発生状況や事故防止の呼びかけがありました。

(令和3年12月末現在)

県内全域の特殊詐欺被害件数 73件・被害金額約7,902万円

大東町内での人身事故発生件数 5件・物損事故発生件数 217件

特別寄稿

吉田章義・三岸節子兄妹の足跡を訪ねて

一宮市三岸節子記念美術館
学芸員 長岡 昌夫

2021年12月初旬、大東町を訪ねました。目的は女性洋画家の先駆者・三岸節子（1905-1999）の足跡と作品を辿ること。

三岸節子（旧姓吉田）は愛知県起町（現一宮市）出身。裕福な大地主の家に生まれ、小学校に入る頃に父と長兄が大規模な毛織物工場を始めましたが、節子が15歳のときに倒産してしまいます。そのとき節子は自分が立派になって一家の名誉を取り戻すことを決意、当時女性の活躍が皆無だった洋画家の道を目指し、家族の反対を押し切って単身上京しました。そんな節子に対し、長兄・吉田章義（1894-1980）だけが唯一理解を示し、愛知から仕送りを続けました。

しかしながら吉田家の没落は進み、1932年頃には送金は完全に途絶えます。その後節子は夫の洋画家・三岸好太郎（1903-1934）と死別、3人の子どもを抱えるシングルマザーの女性画家として苦難の道を歩み続けました。一方、章義は1939年に叔父の紹介により大東町で清久鋳業株式会社を設立し成功を収め、朝鮮戦争による需要拡大で1950年代後半に最盛期を迎えました。

大東町に移ったあとの章義と節子の関係性について、これまでほとんど調査がなされていませんでしたが、あれだけ節子を可愛がっていた章義が節子の支援を再開しないはずがありません。

大東図書館の梅木様や自治振興協議会の安部様をはじめ大東町のみなさんにご協力いただき、今回の調査により1950年代に節子・黄太郎（1930-2009）親子がたびたび東京から章義のもとを訪れていたこと、章義の計らいで1956年に大東中学校で節子・黄太郎親子展が開催されたこと、章義が大東町田中に節子・好太郎・黄太郎3人の美術館の建設を構想していたことなどの新事実が続々と判明したほか、複数の節子作品が鳥根県内で発見されました。

また、「吉田御殿」と呼ばれた章義の自宅内部を写した当時の写真からは、美術館の開館に向け節子や好太郎の代表作が大東町に集まっていたことを窺い知ることもできました。今では所在不明となっている貴重な作品が、今回の調査をきっかけに見つかることを願っています。



向かって前列中央が章義、右端が節子、二列目右端が黄太郎

「三岸節子氏と大東町」

展示について



三岸黄太郎氏 作品

雲南市立大東図書館 司書 景山 民子

雲南市立大東図書館では、令和3年12月3日に山陰中央新報に掲載された「三岸節子さんの作品 雲南で発見」の記事について関連資料展示をしています。また、今回の記事で紹介された、三岸節子氏と息子の黄太郎氏の作品2点を渡部敦子様よりお借りして展示しています。

昨年秋に一宮市三岸節子記念美術館の学芸員長岡昌夫様より、三岸節子氏と大東町のかかわりについて調査依頼を受けました。

調査のなかで、大東町役場作製の新聞スクラップ帳と写真帳（大東図書館所蔵）を役立てることができました。この2冊から1956年に三岸節子氏と黄太郎氏の親子展が開催されていたことがわかり、調査の足掛かりとなりました。これらの資料のほかにも、長岡様より寄贈された図録など約10点も展示しています。展示期間は2月27日（日）までです。お待ちしております。

1月24日（月）～2月4日（金）まで特別整理（蔵書点検）のため休館です。

また、毎週金曜日と祝日・月末も休館しています。開館時間は10:00～18:00です。気を付けてご来館ください。

全国からのお便り



「ふるさとの思い出」

広島県廿日市市在住 岩佐 好雄
(本町出身)



私は昭和23年に本町で生まれ、昭和43年の高校卒業までの20年間を大東で過ごした。

高校卒業後県外の会社に就職。平成2年に現住所に居を構え、平成25年に退職し現在に至っている。故郷を離れた後も折々に帰省し大東の移ろいを目にしてきたが、父親が平成元年に他界したのを契機に母親を呼び寄せ同居した。その母も平成25年に他界し、加えて町内には親類縁者も少なく、大東を訪れる機会は減り小中学校の同期生会に参加する何かの用で松江に出掛けた際に通る程度であり、故郷は遠くになりつつある。

今回投稿のお話をもらい、思い出や出来事を掘り起こそうとするが脈絡もなく断片的にあっちこっちに飛ぶ。

七夕さん(てんてこてんの…)、赤川のホタル(かつては家の中まで迷い込むのもいた)、竹スキー(ゲレンデは雪を固めて)、出雲風土記に記述のある名所の数々、高校生の時の木次線通学。

小学生の時の闘病生活(ベルテス氏病発症。2年間に亘り当時の玉造厚生年金病院に入退院を繰り返し、その為進級が一年遅れた)などなど。

中でも忘れられない出来事の一つは昭和38年の大雪(38豪雪)で、来る日も来る日ものドカ雪で古びた家屋でもあり障子や襖は開け閉めが難しく梁や柱は軋み、生きた心地もなく、夜明けと共に父親と雪降しをする日が続いた。玄関前の道路は幅員も狭く降ろした雪で一階を覆いつくし出入りにも困難をきたした。先の見えない日は何日続いただろう。天候の回復に伴い雪は止み雪解けも進み路面も顔を出し日常が戻って来た時は嬉しく、倒壊を免れた家屋の無事も喜んだ。

私も古稀を過ぎ苦勞の多かった両親を偲ぶといほろりとする昨今です。

昭和38年・豪雪災害



連担地の除雪作業(西本町)

2022年度

『まちづくり
活動助成事業』
の募集!!

大東地区振興
あいあい募金
運営委員会

2010年に開設した「大東地区振興あいあい募金」にこれまでたくさんのご寄付をいただきました。

この寄付金を活用した「まちづくり活動助成事業」の助成金申請受付をします。

- 対象** 10名以上の会員を有する大東地区内の活動団体
- 事業** 地域振興に資する事業
- 金額** 5万円以内の助成金
- 受付** 2022年2月16日～2022年4月23日
- 申込** 大東交流センター内
大東地区振興あいあい募金運営委員会(TEL:43-2130)



ひの しゅんじろう
日野俊二郎さん 新庄東自治会（山尾谷）

令和4年寅年の冒頭を飾って頂くのは、戦後間もない昭和21年に地元新庄で生まれ育ち、こよなく地元を愛し大切にしてきた心温かな日野俊二郎さんです。

現在も観光会社に在籍、依頼があれば出かけるという。忙しい中、時間を頂きました。

Q 長い間バスの運転手としてご活躍されましたがその経緯を聞かせてください。

山尾谷で生まれ育ち義務教育を終えると同時に一畑電気鉄道（株）に入社、同期入社も70余名と賑やかな中で出雲営業所に配属、当初はバスの車掌として勤務、数年後運転手か整備士かの選択肢があり、運転手を希望、大型免許を取得、続いて大型2種免許も取得して以来今日まで緑（営業）ナンバーの運転手として頑張ってきました。
半世紀以上緑ナンバーのハンドルを握っていることになりませぬ。安全運転の鏡です。

Q 長い間のドライバー生活、いろいろあったでしょうね。

私が26歳の時 父が亡くなり長男としての責任を痛感、32歳で一度退社、地元大東の会社に就職、ここでも約10年間観光バスの運転手として勤務し縁があって再び一畑電鉄に就職、観光バスの運転手として誇りを持ち定年まで勤めました。

旅行の勧誘やお供は勿論お客様のお陰で全国津々浦々行かせて頂きましたね。冒険・思い出作りができました。ありがたいことです。宿泊先での宴会場では宴会芸をしたり添乗としての乗務をした時には、ガイドをしたり唄ったりして、車内で楽しく旅行気分を味わって頂きました。

また、好来八太郎（よしかた やったろう）と自分で芸名をつけ名刺も作って盛り上げましたよ。いい思い出が沢山あります。定年後の今は、松江の観光会社に籍を置き、お呼びがかかれば出かけます。年齢的にも近隣（中四国、京阪神、北九州）の範囲内での仕事に限定していますけどね。でも、レンタカーでの依頼があれば多方面わたり出かけます。
今でもたびたびお呼びがかかるのがよくなりました。

Q 一番の思い出は何ですか

50歳の時指名を受けて乗務した旅行での富士登山ですね。悪天候のためご来光は拝めなかったけど日本一の山に登ったという満足と達成感は忘れられないです。

でもね、観光業務も楽しいことばかりではありません。時間の制約、天候の急変、特に冬季の対応等気が抜けません。旅行先の視察、特に京阪神発着の信州一円のスキーバス等では苦勞しました。大切な人の命を預かっての仕事は緊張の連続で苦勞の方が多かったかな？

Q 交通指導員もされていますが

2年前お願いされ、毎朝登校時間に合わせ、児童生徒の安全を確保するため横断歩道等での交通指導をしています。これは新庄通学路等の地元ボランティアさんの協力をしながら安全第一を念頭に保護誘導をしています。

子どもたちが私を見て安心してきているのが分かるのでやりがいがあります。

Q 民生委員児童委員も大変ですね。

交通状況・天気の状態を掌握しつつの活動で頭が下がります。

3年目を迎えました。地元の2つの自治会とグラウンデの担当です。高齢者が多くなり相談も多くあります。都合のつく限り訪問して状況把握に努めていますが雑用を頼まれることもあり、協力を惜しまないように活動しています。
誰からも信頼されている民生・児童委員さんです。よろしくお願いいたします。

多方面にわたる活躍は皆さん周知のとおり、山尾谷桜並木保存会で100本を超える桜の木も管理しています。「若い時はエレキバンドを結成しリードギターを担当、ピアガーデンやステージで鳴らしとったもんだわね」とも。今も五右衛門風呂を薪で沸かし心も体も芯から温め疲れを癒します。昔を懐かしみ、将来に夢を馳せ、終始笑顔で面白く話していただきました。イヤー楽しい取材でした。

これからも明寿会やいろいろな会合で得意の余芸が見たいですね。

（記、西村 武）

あいあい募金 ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

- ・大東町（東町南）土谷 泰弘 様（香典返し）
- ・大東町（金成下）石川 茂 様（香典返し）
- ・大東町（新庄南）樋野 廣 様（香典返し）
- ・大東町（西本町）小山 武司 様（香典返し）

大東地区振興あいあい募金運営委員会（TEL：43-2130）

■令和3年12月末現在の人口・世帯数 【（）内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	36,374人 (-142人)	11,629人 (-51人)	3,423人 (-24人)
男性	17,549人 (-79人)	5,674人 (-20人)	1,653人 (-8人)
女性	18,825人 (-63人)	5,955人 (-31人)	1,770人 (-16人)
世帯数	13,604世帯 (-48世帯)	4,130世帯 (-20世帯)	1,267世帯 (-6世帯)
高齢化率	39.99% (+0.13%)	39.88% (+0.27%)	—

資料：雲南市HPより